

特集2 2019年度県教育委員会の主要事業

新学習指導要領の全面実施に向けて

昨年度から全国の小・中学校で新しい学習指導要領の導入に向けた移行期間が始まりました。

小学校では来年度、中学校では再来年度の全面実施に向け、必要な準備を進めていきます。

さくらプラン・わかばプランを継続します

県では、独自の少人数学級編制（さくらプラン（小学校）・わかばプラン（中学校））を継続することで、先生が目が子ども一人一人によく行き届くようにしています。発達段階に応じた指導体制を充実させることで、学力の定着・向上につなげます。

県立学校のICT環境を整備します

新学習指導要領では、子どもの学習への興味・関心を高め、分かりやすい授業や子どもの主体的・協働的な学びを実現するため、プロジェクターなどのICT機器の全学校種への設置を義務付けています。県では、今年度から高校や特別支援学校などで順次導入を開始します。

新しい学習指導要領については、No.466の教育ぐんまで特集しました。県ホームページでご覧になれます。



● さくらプラン・わかばプランの学級人数

区分	対象	学級人数	参考：国で定める学級人数
小学校	1年生	30人以下	35人以下
	2年生	30人以下	40人以下
	3・4年生	35人以下	40人以下
中学校	1年生	35人以下	40人以下

英語教育アドバイザー教員の配置を継続します

小学校における英語教育の早期化・教科化に全県で地域差なく対応するため、5名の英語教育アドバイザー教員（EAT）を継続して配置し、小学校教員の英語指導力を向上させます。



教育環境のさらなる充実を目指して

桐生・みどり地区の新高校を整備します

2021年4月に開校する2つの新高校の校舎や体育館の新築・改築工事を実施します。また、今年度は新高校の校名の決定も予定しています。

特別支援学校の教育環境を整備します

昨年度、新たに高等部を整備した沼田・富岡・吾妻特別支援学校の校舎の工事が完了し、生徒の受け入れを開始しました。

今年度は、藤岡特別支援学校高等部の校舎や体育館の整備を進めていきます。



県立沼田特別支援学校の新校舎



県立吾妻特別支援学校の改修した校舎

外部人材の活用を支援します

子どもたちにきめ細やかな指導を行うとともに、教員の長時間労働を改善するため、外部人材を活用した支援に取り組みます。

● 運動部活動指導員

中学校の運動部活動に単独で指導や引率などが行える指導員を配置するための費用を市町村に補助します。

また、指導員不足に悩む学校現場を支援するため、部活動指導の経験がある元教員の名簿を作成し、人材バンクとして活用します。



サッカー部の部活動指導員
(前橋市立大胡中学校)

● スクール・サポート・スタッフ

教員が行っている事務作業（授業の準備、配布物の印刷など）を補助する非常勤職員を小・中学校に継続して配置します。

● 日本語指導補助員・支援員

日本語指導を必要とする帰国・外国人児童生徒の円滑な就学や学習を支援するため、通訳や翻訳などを行う補助員・支援員を配置する費用を市や町に補助します。